

事業所名		一関市かるがも千厩教室				支援プログラム		作成日		令和8 年		3 月		24 日	
法人（事業所）理念		「わかって動ける」「できて嬉しい」「楽しくて満足」 わかりやすい環境設定を基に、各々の成長や発達に合わせたプログラムを提供し、意識的・意図的に療育を行うことで、こどもの自信につなげます。													
支援方針		①個別指導や小集団活動を行うなかで、人との関わりを通じてこどもたちの興味・関心の幅を広げます。また、様々な活動を経験し、自信を持てるようにすることで健やかな発達を促します。 ②おうちの方と一緒に参加いただくことで、おうちの方がこどもの特徴や特性、望ましい関わり方を知ることができ、成長と一緒に喜びあえる支援を目指します。 ③地域や関係機関との結びつきを大切にし、地域の保険・医療及び福祉サービスの各機関との連携に努めます。 ④一人ひとりのこどもの持つ強みや良いところを大切にしたい個別支援計画を作成し、計画に基づいた支援に取り組みます。													
営業時間		9 時		30 分から		15 時		30 分まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	登所・降所時のご挨拶や身支度など、様々な場面での基本的生活習慣の獲得を支援します。毎回決まったお友達との小集団での活動により、緊張や人見知りが強いお子様が安心できるような環境のなかで、集団生活でのルール等をスモールステップで獲得できるような支援を行います。毎回の水分補給を通じ、周囲の大人に要求を伝えるようにすること、水分補給が苦手なお子様の水やお茶を飲めるよう練習することなどに取り組みます。〈具体的な活動例：ハンドサインや言語での要求の練習、登所後の身支度〉													
	運動・感覚	お子様の育ちに合わせた様々な運動課題を経験することで、具体的な体の動かし方を学んだり、感覚統合を促したりできるよう支援します。様々な課題を経験することでお子様の好む課題を探りながら、「楽しい」という気持ちを大切に、粗大運動や微細運動に取り組みます。また感触遊びなども取り入れることで様々な感触・感覚を経験し、お子様の発達を支援します。〈具体的な活動例：サーキット、トランポリン、スライム遊び、小麦粉粘土、新聞紙遊び、体操、リトミック など〉													
	認知・行動	お子様の育ちに合わせた様々な課題に取り組み、色名や数、「大小」や「長短」といった比較概念認知機能の発達を促します。プリント課題のような個別指導で取り組む課題のほか、あつまりの参加型教材に色概念を取り入れたたり、サーキットに数概念を取り入れたりすることによって、小集団活動中も楽しみながら概念形成できるよう支援します。〈具体的な活動例：型はめ、つみき遊び、プリント課題（まちがい探し、迷路など）、連想ゲーム、神経衰弱、パズル、シール貼り、りんご狩りサーキット〉													
	言語コミュニケーション	お子様の「楽しい」という気持ちを大切にしながら、発達に応じた意思表示ができるよう支援します。お子様の気持ちに寄り添い活動の都度言語化し、表情や発声も含めた気持ちの表出方法獲得のための支援を行います。「相手に気持ちが伝わった」という経験を積むことでコミュニケーションの楽しさに気付けるよう、活動の折々でハンドサインやジェスチャー、適切な言語表出の練習を行います。自由遊びの時間も含め、指導員が適切なやりとりのモデルを示しながら支援します。〈具体的な活動例：自由遊び時や活動中のサイン練習、お子様が好む課題を行う際の「もう一回」の練習〉													
	人間関係 社会性	同じグループのお友達との小集団活動を中心に、刺激の少ない落ち着いた環境の中で社会性を育めるよう支援します。緊張や人見知りが強いお子様でも安心できるよう環境調整を行いながら、同じグループのお友達と少しずつ関係を築けるような活動を設定します。順番待ちが発生するサーキット運動や勝敗のあるゲーム的な課題など、様々な活動を通じて社会性の獲得を目指します。親子で楽しめる活動を取り入れることで、愛着形成を促します。〈具体的な活動例：サーキット、風船遊び、紙ずもう、親子運動、ふれあい遊び〉													
家族支援		毎回の活動を通して、お子様の良いところに着目した関わりができるよう助言を行います。活動後担当指導員とのフィードバックの時間を設け、支援の振り返りのほかに日頃の子育ての負担感や悩みを話せる時間を設定します。						移行支援		未就園のお子様の場合は就園を見据えた基本的生活習慣の獲得を支援します。特にも5歳児の場合は就学を視野に入れ、関係機関への引継ぎ、保護者の就学不安の解消等に向けた支援を行います。					
地域支援・地域連携		保育園等と併行利用のお子様の場合は園訪問や施設間の情報共有を丁寧に行うことにより、大集団で安心して過ごせるよう支援します。適宜情報共有を行い、相談支援事業所や医療機関等、福祉や医療との連携を図ります。						職員の質の向上		各種専門機関が開催する外部研修に参加するほか、法人内心理専門職員による内部研修や事業所職員どうしの内部研修等を行い、能力の向上や研鑽に努めます。					
主な行事等		就学説明会、避難訓練、親の会（保護者交流会）、ペアレントトレーニング、専門家個別相談会、巣立ちの会（卒所式）													